

これだけやっとけばしっかり使える『Share』の簡単利用法

「いろいろと専門用語が多くて、なにがわからないのかわからない」 そんなとっつきにくい『Share』だって、使うだけなら理屈はいらぬ!! とりあえず、こうやっとけばファイルは落ちてきます!

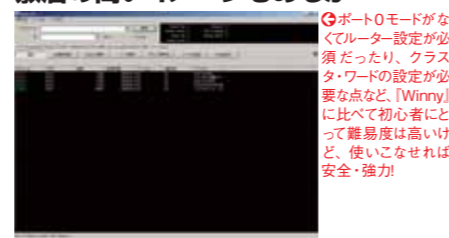
『Share』とはどんなソフトなのか?

安全性・匿名性が向上したファイル共有ソフトの新定番

ファイル共有ソフトの代名詞的存在だった『Winny』。しかし、ウィルスの蔓延やセキュリティ問題など弱点が多く見つかリ、さらに作者の逮捕もあり開発は事実上中断。その『Winny』の後継ソフトとして誕生したのが『Share』である。

『Share』の利点はまず、拡散アップロード方式の採用により匿名性がさらに高められたこと。またクラックへの対策もより強固になり、セキュリティ面でも進化している。その他に、キャッシュ容量の指定が可能でプラグインによる機能の拡張など、多くの改良点がみられることからユーザも増え、名実ともに『Winny』を凌ぐ勢いだ。

敷居の高いイメージもあるが...

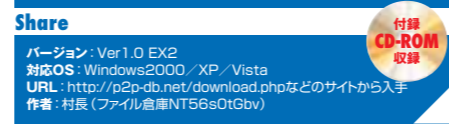


『Share』のフォルダ設定

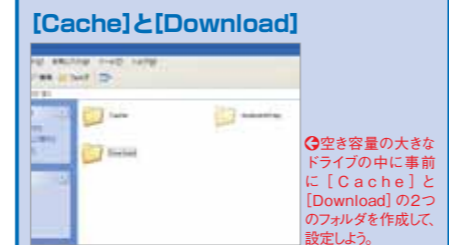
『Share』を使うならHDDはデカイほどいい

『Share』のインストールは、『Share10_ex2.zip』などのファイル(付録CD-ROM収録)を任意のフォルダ内に解凍するだけでいい。『Share』を利用にはまず、ダウンロードしたデータを保存しておくキャッシュフォルダとダウンロードが完了したファイルを保存するためのダウンロードフォルダを設定する必要がある。『Share』

では、指定した最大容量を超えると、自動的に不要なファイルを削除する機能(クォータ)があるため、キャッシュ・オーバーフローのせいで使えなくなるということは起こらない。クォータの値は、HDDの空き容量から20~30GB少ないくらいに設定するといい。キャッシュ容量が少なく、エラーの発生や効率の低下に繋がる。セキュリティ上の面からも、できるだけ大きな空き容量のあるHDDを『Share』専用のドライブとして用意したほうがいいだろう。



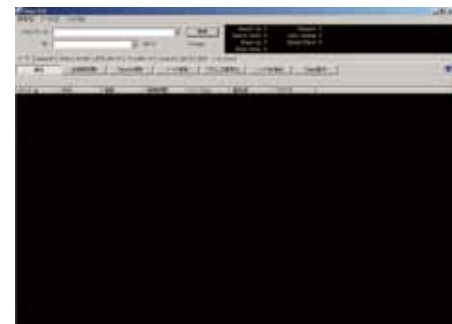
キャッシュとダウンロードのフォルダはあらかじめ作っておく



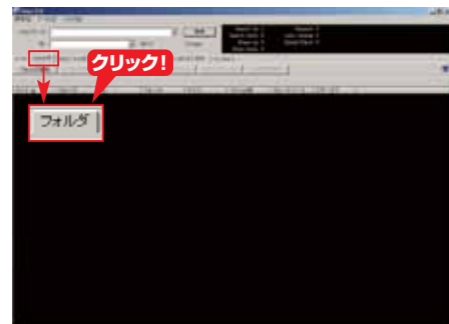
最低100GBは欲しい



1 『Share』を起動する



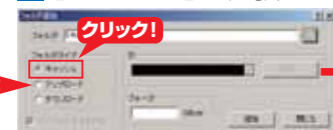
2 [フォルダ] タブを開く



3 [フォルダの追加] をクリック



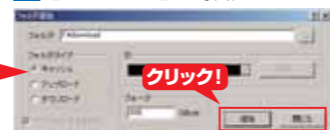
4 [キャッシュ] を選択



5 [ダウンロード] を選択



6 [クォータ] を設定する



ネットワーク・パフォーマンスの設定

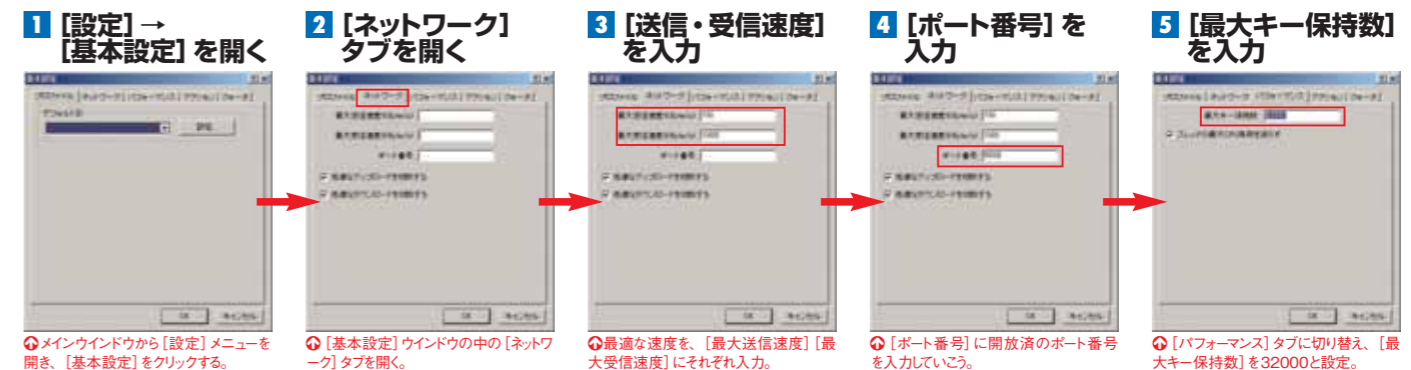
自分の環境の回線速度をあらかじめ調べておく

次に『Share』が利用する回線速度の設定を行う。この設定が実際の速度と大きく食い違っている場合、『Share』のダウンロードの効率が悪化する。回線速度はユーザーのネット環境によって大きく異なる。プロバイダの言う「下

り」が「受信速度」。「上り」が「送信速度」にあたる。自分が契約しているプロバイダが提示している数字をそのまま使ってもいいが、できれば回線速度チェックサイト(http://www.musen-ian.com/speed/)を利用して、実際の回線速度を計っておくといだろう。またプロバイダ側の表記と『Share』の設定では単位が異なっているのも注意が必要だ。

『Share』の設定はキロバイト単位だぞ

●●Mbps(自分の回線速度) / 8×1000が目安
一般的にネットの回線速度はMbpsの単位で表示されるが、『Share』の設定ではKbpsが使われている。およそ1000倍になる数字だが、実際の環境ではプロバイダの提示速度より低い場合がほとんどなので、少し低めに設定してやろう。



クラスタを登録する

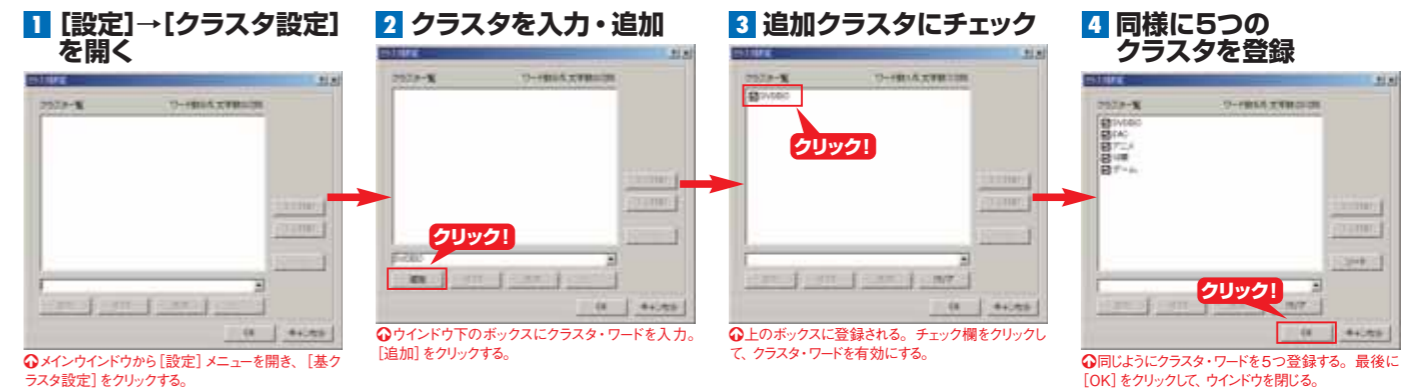
どんなジャンルのファイルが欲しいのか? を設定

『Share』を使う上で1番のポイントとなるのがこのクラスタの設定だ。『Share』はクラスタを登録しないとネットワークには繋がらない。登録できるクラスタ・ワードの数は5つ(最大

255文字まで)。ただし『Share』の使用途中でも自由に変更は可能になっている。欲張ってクラスタの設定を広くすると、ダウンロードの効率は落ちる。逆に絞れば、そのジャンルのダウンロード効率はよくなるが、それ以外のジャンルのものはまったく落ちてこなくなることもありうる。自分の欲しいファイルを見極めておこう。

クラスタの設定こそ『Share』使いのポイント!

同じクラスタなら「お前は俺か?」状態!?
クラスタとは同じようなファイルを欲しがっている『Share』ユーザの派閥と考えていい。『Share』はクラスタの結びつきが非常に強いので、この設定次第で繋がり方がまるで変わってくるのだ。



おすすめクラスタワードを上手に使いこなそう

最初は大きなクラスタからはじめよう

初心者は下にあげたクラスタのほかに「ゲーム」や「18禁」、「一般コミック」「同人誌」「お宝」などがおすすめです。使いなれた段階で自分の欲しいジャンルにはどんなキーワードが付いているかを確認し、クラスタをカスタマイズしていい。

TV	漠然と「動画」で登録するよりも、欲しいジャンルを絞り込んだほうがいい。「フジ」などのチャンネル名や「バラエティ」などのジャンルなどと組み合わせるとさらに効率がアップする。
DVDISO	ISOはDVDのイメージファイルのことで、映画やアニメ、ゲームを問わずDVDメディアで供給されているソフト全てに対応する。仮想ドライブにマウントしたり、DVDに焼き出して利用する。
EAC	CDと同じレベルの高音質音源を求めるならこのクラスタ。APEやOGG、FLACなどの可逆圧縮の音楽ファイルはこのクラスタで入手できる。最初から圧縮音源でいいならMP3などで登録しよう。
アニメ	エロと並ぶ『Share』の最大勢力。デジタル放送のHD画質を素材に、腕のいいエンコ職人がアップしているためDVDよりもずっと画質がいい。有名エンコ職人の名前でクラスタ登録してもいい。
エロ動画	ほかに「焙煎にんにく」や「雪国まいたけ」なども使える。気に入っているor観てみたい有料エロ動画サイトの名前などを使ってみれば、そのサイトの動画がごっそり、なんてこともある。